

事業番号② 網膜色素変性症等の患者・家族、その他からの相談対応事業

「病気といかに向き合い、いかに受け入れていくか」について、患者とともに考えていく事業です。この病気は症状が千差万別。人によって進行度も異なります。また、遺伝子が原因のため、「知られたくない」と、人に相談できない患者が多いのが現状です。生活環境も異なるので、それぞれの状況に応じ個別対応できる相談事業が重要な役割を果たすこととなります。具体的には次のような取り組みをしています。

●電話相談事業／●来談及び面接相談事業／●ピアサポート研修事業

※ピア（piaまたはpeer）サポートとは、同等の者、病気の仲間という意味で、患者自身が自分の体験などをもとに同病者をサポートするという意味になります。